

大江山りく野の道の  
軽く止める

遠ければまだふみも見ず

天の橋立  
軽く止める

(母のいる丹後の国へは) 大江山を越え、生野を通って行かなければならない  
遠い道なので、まだ天橋立へは行ったことがありません。(ですから、そこに  
住む母からの手紙など、まだ見ようはずもありません)

中一ここ

(百人一首 六〇番 小式部内侍)